

## 学校統合事業費比較（30年間の整備費の試算）

[積算根拠]	※消費税抜き
建替え単価	33万円/㎡
大規模改修単価	8万円/㎡
解体単価	2.5万円/㎡

### 【整備パターン別事業費】

(1) 別の用地を確保して統合する場合	①+②+③合計	18億6,830万円
①土地購入費(22,000㎡×2,750円)		6,050万円
②新小学校新設工事費(4,800㎡) [R8-9]		15億8,400万円
…統合時の児童数471人の推計により、15クラス程度を想定(現在の狭山小と同規模)		
③宮寺小学校・狭山小学校解体工事費(8,952㎡) [R11]		2億2,380万円
(参考)		
■宮寺小学校跡地売却益(市有地部分のみ、約7,700㎡)		1.5億円程度を想定
■狭山小学校跡地売却益(約21,500㎡)		4.0億円程度を想定
(2) 狭山小学校に統合する場合	①+②+③合計	17億2,275万円
①狭山小学校新設工事費(南校舎・体育館は活用、南校舎大規模改修・東西校舎解体費含む) (3,400㎡、現在と同規模) [R8-9]		12億2,300万円
②狭山小学校新設工事に伴う仮設校舎建設・解体費 (仮設校舎3,000㎡/建設単価120,000円/解体単価12,000円として試算)		3億9,600万円
③宮寺小学校解体工事費(4,150㎡) [R11]		1億0,375万円
(参考)		
■宮寺小学校跡地売却益(市有地部分のみ、約7,700㎡)		1.5億円程度を想定
(3) 統合しない場合	①+②合計	21億8,475万円
①宮寺小学校新設工事費(解体費含む) ※面積2割減(3,300㎡) [第1期]		11億9,275万円
②狭山小学校新設工事費(南校舎・体育館は活用、南校舎大規模改修・東西校舎解体費含む) [第2期]		9億9,200万円
…面積2割減(2,700㎡) → (現在の面積4,800㎡ - 南校舎200㎡ - 体育館1,200㎡) × 0.8		
※両校とも、新設工事の際には仮設校舎が必要となる可能性がある。		

### 【整備パターンごとの効果と課題】

#### (1) 別の用地を確保して統合する場合

- ・新設工事と用地取得に費用はかかるが、修繕や改修などの費用は当面かからなくなる。
- ・ランニングコストが2校分から1校分になるため、長期的には大幅なコストダウンとなる。
- ・両校の跡地を売却することができれば、その利益を事業費に充当することができる。
- ・コストが浮いた分は学校施設や教育内容の充実などに活かすことができる。

#### (2) 狭山小学校に統合する場合

- ・新設工事を行う場合に、一定期間、仮設校舎の設置が必要となる可能性がある。そのため、学習環境や安全確保の面で影響が出ることと、費用負担も大きくなる。
- ・一部の校舎と体育館は築年数が少なく、当面の間使用することができるため、新設に関するイニシャルコストは抑えることができる。
- ・統合するため、ランニングコストは1校分となり、長期的には大幅なコストダウンとなる。
- ・学区内の位置がかたよるためスクールバスの運行等を考える必要があり、ランニングコストが継続してかかる。

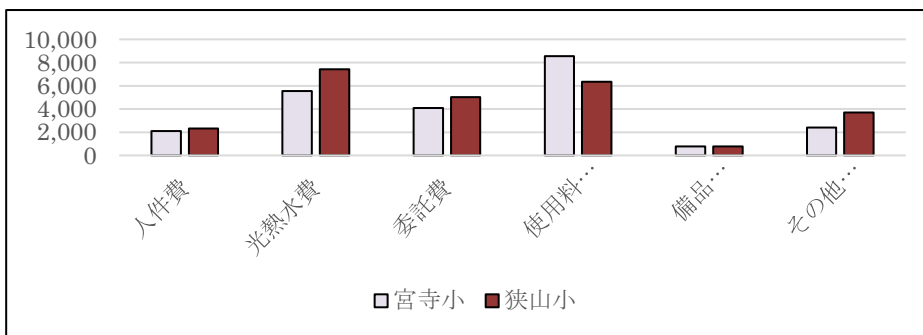
### (3) 統合しない場合

- ・両校とも耐用年数を目安に規模を縮小して建て替える必要があり、高額なイニシャルコストがかかる。
- ・2校が残るため、ランニングコストも継続的に2校分かかる。
- ・事業費を抑えるためには、施設の充実などは難しくなる。

★参考：両校の主な維持管理費（平成30年度）（単位：千円）

#### 〈経常的なもの〉

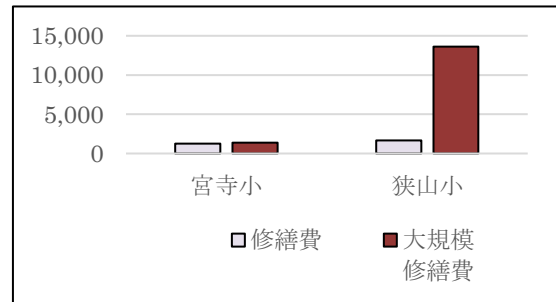
	人件費	光熱水費	委託費	使用料及び賃借料	備品購入費	その他物件費	合計	生徒一人当たり
宮寺小	2,085	5,557	4,091	8,542	761	2,392	23,428	107
狭山小	2,318	7,417	5,013	6,337	767	3,704	25,556	59



#### 〈臨時的なもの〉

	修繕費	大規模修繕費	合計
宮寺小	1,261	1,368	2,629
狭山小	1,666	13,638	15,304

※狭山小の大規模修繕は体育館の非構造部材の耐震化を実施



#### ■主な大規模修繕の事例

- ・トイレ洋式化
- ・非構造部材耐震化
- ・煙突のアスベスト処理
- ・屋上防水、外壁改修
- ・プール改修 等